

ポーランド・マクロ経済情勢

2020年3月
在ポーランド日本国大使館
経 済 班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2019年のGDP成長率は4.1%（速報値）で、引き続き好調な経済成長を遂げている（2017年は4.8%、2018年は5.1%）。2020年3月、新型コロナウイルスの影響等を勘案し、金融政策委員会は政策金利を史上最低の1.0%に引き下げた。

2 生産・消費の伸びは鈍化

1月の鉱工業生産は前年同月比1.1%増、小売販売は対前年同月比3.5%増。生産及び消費共に伸びは鈍化した。

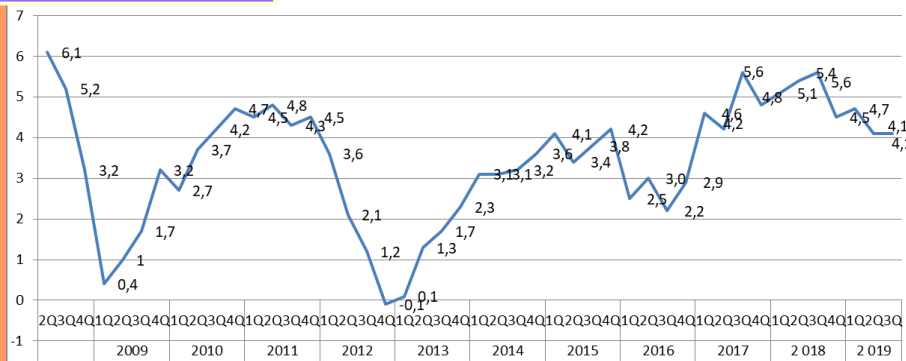
3 物価は上昇傾向

2月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比4.7%上昇。物価は2011年以来の高い上昇率となり、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の上限を超過。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

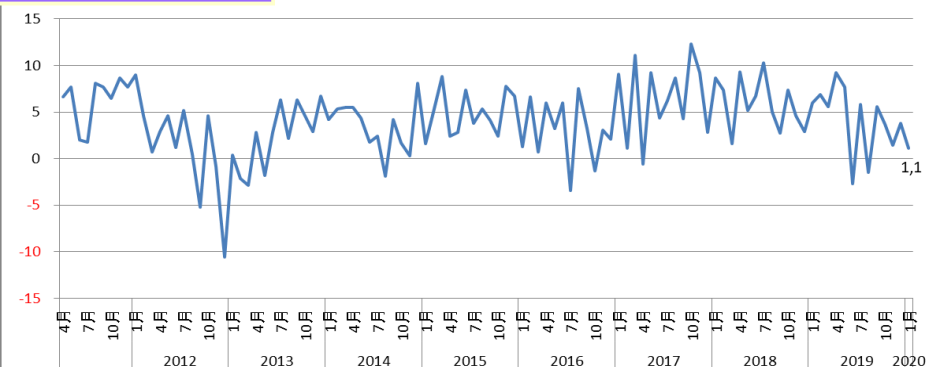
1月の失業率は5.5%、平均賃金上昇率は対前年同月比7.1%増。失業率は前月から0.3%増加した。

経済成長



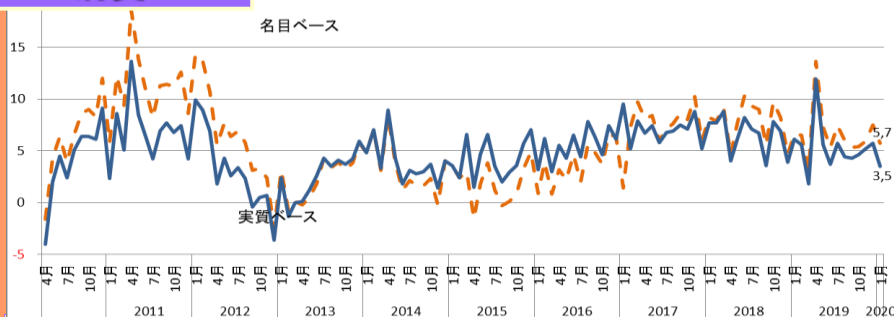
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



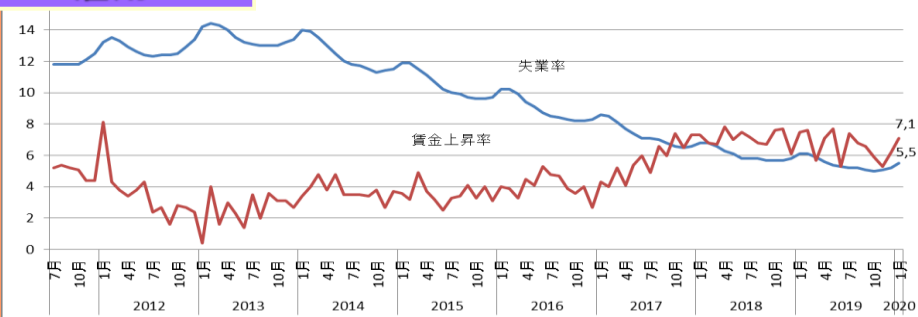
鉱工業生産は対前年同月比1.1%増加したが、伸びは鈍化した。

消費



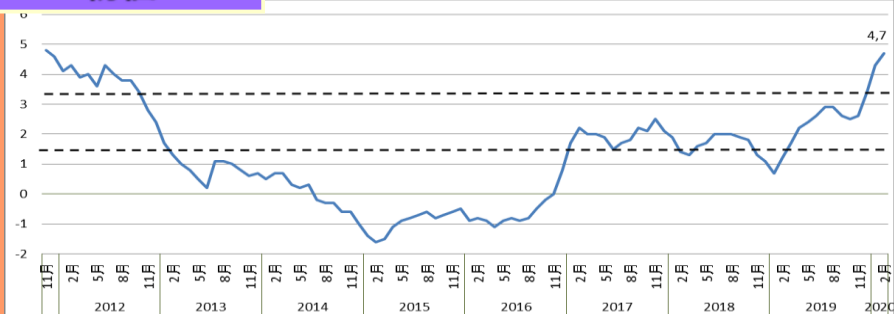
小売販売は対前年同月比3.5%増で、伸びは鈍化した。

雇用



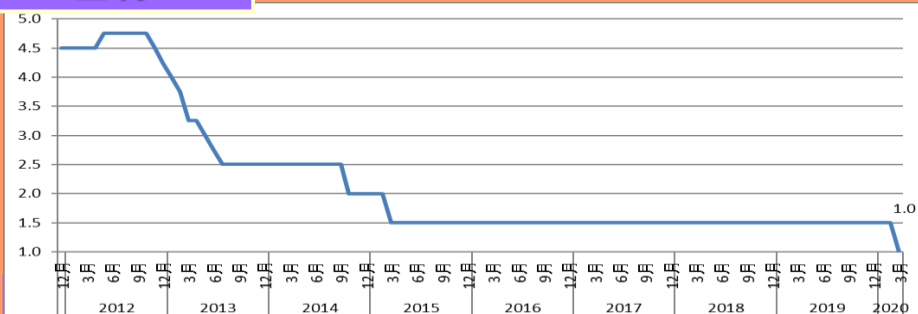
1月の失業率は5.5%と前月より増加した。平均賃金上昇率は対前年同月比7.1%増と引き続き上昇傾向にある。

物価



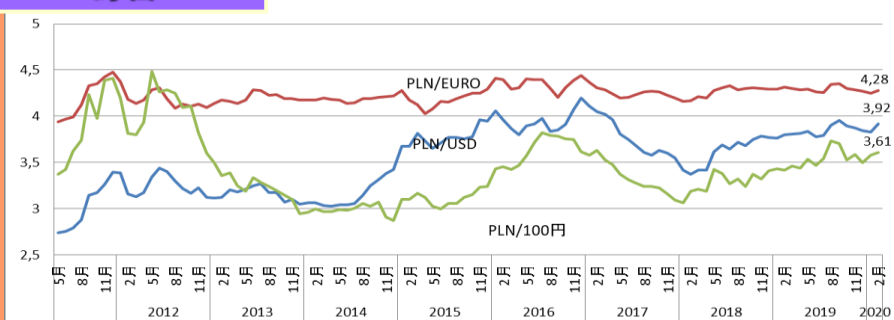
2月のCPIは対前年同月比4.7%上昇。物価は2011年以来の高い上昇率となり、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の上限を超過。

金利



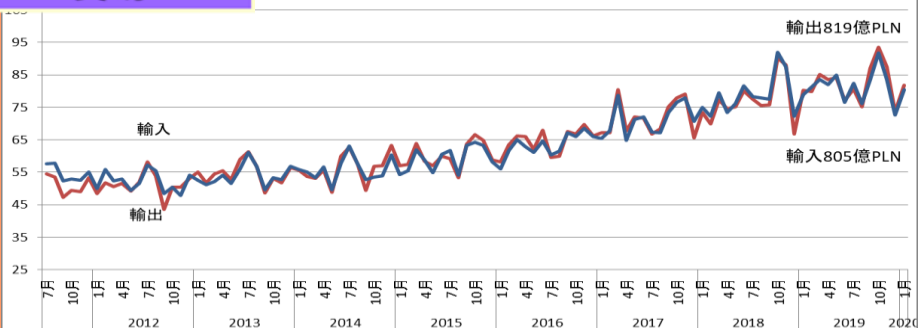
2020年3月、新型コロナウイルスの影響等を勘案し、政策金利は史上最低の1.0%に引き下げられた。

為替



2月の平均為替は、対ユーロ(4.28ズロチ)、対ドル(3.92ズロチ)、対日本円(3.61ズロチ)でそれぞれズロチ安が進んだ。

貿易



1月の輸出は約819億ズロチ、輸入は約805億ズロチで約14億ズロチの貿易黒字となった(12月は10億ズロチの貿易黒字)。